

<奈良市：奈良市三条通り社会実験調査>

施策名	奈良市三条通り社会実験調査
取り組みの背景 地域の交通環境問題 行政・市民ニーズ 交通基盤シズ など	背景 1：車道部をクランク状にした道路形状が、路上駐車を増加させ、正常な交通流を妨げ、歩行環境等も悪化した。 背景 2：まちづくり協議会を中心に、中心市街地の活性化が強く求められている。 背景 3：街路事業並びに地区計画の実施により、トランジットモール導入の可能性を検討。
目的・ねらい 目的・ねらい 対象交通 など	目的・ねらい：奈良市の中心部に位置する三条通りでは、路上駐車が安全な歩行環境を阻害するなどの問題が生じており、交通環境の改善を通じて商店街への来客の増加を図り、商店街の活性化を図る。 対象交通：商店街に流入する自家用車利用の抑制と公共交通への転換。高齢者の交通手段の確保。
取り組みの経緯 経緯・熟度 など	道路形状から来る正常な交通の妨げや、歩行者等の歩行環境の悪化を改善する為、平成 8 年に道路整備に向けての街路調査を決定。 同時期に、オムニバスタウン構想が立ち上がった為、街路調査と合わせ、社会実験の実施準備として平成 9 年度交通実態調査を行う。 様々な交通実験の一環として、トランジットモール導入の可能性も含めて平成 10 年度に交通実験を実施。 その成果を踏まえ、平成 11 年度にトランジットモールの社会実験調査を実施し、効果の把握と課題の検証を行う。
主体・広報・費用 実施主体 検討組織 広報スケジュール 費用負担 など	実施主体：奈良市 検討組織：奈良市都市計画部街路課、建設省（近畿地方建設局）、奈良県警察、奈良交通 広報：平成 10 年度 チラシの配布、市民だよりに掲載、看板や横断幕の設置、バス車体に P R を貼付 平成 11 年度 ポスター掲示、チラシの配布、市民だよりに掲載、記者発表、なら F M で放送、駅頭での呼び込み、バス車体に P R 貼付、横断幕の設置、テレビ局取材と市政モニターと共に記者搭乘 費用負担：市 1 / 2 と国 1 / 2

実施概要	対象地域：三条通り、ならまち、高畑地区
対象地域 実施日時 施策内容 など	実施日時：平成11年11月9日～11月13日13時～16時 施策内容：「なら・まちなかバス（無料）」運行 <ul style="list-style-type: none"> ・ バス便のない、ならまち～高畑地区を結ぶ ・ 15分間隔の17便/日、延べ68回運行 ・ みんなが利用しやすいバスの導入（ハイブリッドバス、ワンステップバス、ボンネット型クラシックバス） ・ バス停留所19箇所設置
効果測定内容	効果測定内容：バス走行実態、乗降客数把握、乗客意向、来街者意向のアンケート調査
測定内容 効果把握 など	効果把握結果：バス運行に対し賛成7割、反対2割 <ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物、飲食に便利 6割、観光客に便利 8割 ・ 三条通りのイメージアップ 5割 ・ 歩行者への影響 邪魔・危険 5割 ・ バス有料の場合 有料利用9割（料金100円なら8割）
取組上の課題	課題1：来街者を単に通過させるだけではなく、購買行動に結びつけていくためのバスの走行形態や、バスの走行方向に関しさらに検討が必要
合意形成 費用負担 など	課題2：路上駐車のためにバスが停車を余儀なくされたり、現在の道路形態でバスを通行させるには、歩行者・自転車の安全上の問題などが指摘されており、都市計画道路として、三条通りの拡幅整備が完了しないと運行等は難しい 課題3：需要の確保や採算の点で問題
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、街路事業を施行中 ・ 奈良交通株が、ワンコインバスとして別路線で試行（料金100円）
今後の方向性 地域指定 等	

以上

都道府県市名 : 奈良県奈良市
 担当部局名 : 都市計画部街路課